

丹沢(仏果山・高取山)の記録

2010年(平成22年)10月25日
東京秋工会ハイキング同好会

場 所 丹沢(仏果山・高取山)

日 時 2010年(平成22年)10月24日(日)

集合時刻・場所 8:15 小田急線 本厚木駅北口改札前

往 路 乗 車 8:20発 神奈川中央交通バス 本厚木駅北口前
9:00頃着 愛川ふれあいの村センター前 ¥550

交 通 費 参考 小田急線 新宿駅～本厚木駅 480×2 ¥960
バス代 本厚木駅～燃系組合前・半原 550×2 ¥1,100
インクライン(ケーブルカー)宮ヶ瀬ダム 200×1 ¥200

コ ー ス 9:35発愛川ふれあいの村センター前 高取山分岐 仏果山
高取山 宮ヶ瀬ダム 半原バス停

地 図



復 路 乗 車 16:20発 神奈川中央交通バス 半原バス停前
17:00着 本厚木北口前 ¥550

服 装 上着・ズボン・帽子・軍手・登山靴・着替

携 行 品 ザック・雨具・水筒・タオル・チリ紙

食 料 昼食・予備食・(嗜好品)



仏果山頂上付近

仏果山のいわれ

この山は、室町時代のはじめ清川村煤ヶ谷にある正住寺（臨済宗鎌倉建長寺派）を開山した天臺存円上人（仏果禪師）が、座禪修行をした山といわれている。

天臺存円上人が座禪をしたという座禪石は、いつの頃から煤ヶ谷側の仏果沢に落下してしまった。こうした由来から、この山の名を「仏果山」と呼ぶようになったという。（現在この座禪石は下の採石場わきにある。）

また、この山は昔、煤ヶ谷の人々は南麓と呼び、半原越え（半原峠）から仏果山周辺までを南山と呼んだ。津久井町長竹・韮尾根などでは半原富士と呼んでいた。

環境庁・神奈川県



高取山頂上



宮ヶ瀬ダムを眼下に

この後が本日最悪の下り(急な階段が延々と続く)